

講義名	中国語中級B			授業形態	
担当教員	小笠原 恵子	開講期・曜日・時限	後期 金曜日 2時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

主題と概要

すでに学んだ中国語の基礎を復習しながら、さらに新しいものを積み上げ、中国語の運用に必要な知識を一通りすべて学びます。中国語の文法は、英語のように多くはありませんが、それを運用できるかどうかが問題です。中国語学習者にありがちなタイプとして、発音を軽視し、リスニングはまったくお手上げという人がいます。「聞く、話す、書く、読む」すべてにおいて、中級レベルに達しなければ意味がありません。自分に足りない部分を知り、弱いところは、初心に戻って学び直す必要があります。

到達目標

基本的な文章を読み、書くことができるようになる
簡単な日常会話ができるようになる
中国語検定試験のレベルを目安とすると、3級レベルの中国語を学習します。検定3級にチャレンジできる力をつけます

提出課題

必要に応じて授業で指示します

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

出席確認を兼ねて小テストを行うことがあります。小テストは返却しませんが、次回の授業で講評します。中間試験は返却した上で、講評します。

評価の基準

次の点を総合的に判断します
平常点（宿題提出、出席状況、受講態度） 30%
中間試験と期末試験 70%

履修にあたっての注意・助言他

ややレベルの高い中国語クラスです。対象学生は「ブラッシュアップ中国語」を終えた人、GSP（グローバル・スタディーズ・プログラム）生などを想定しています
教科書は必ず購入の上、授業にのぞんでください
新型コロナウイルス感染症の感染者や濃厚接触者に指定され一時的に通学が禁止となった学生には、別途個別に対応します

教科書

中国語への道	内田慶市 / 奥村佳代子 / 堀山正純 / 張軼秋	金星堂	2300	9784764707245
--------	---------------------------	-----	------	---------------

参考図書

その他

必要に応じてプリントを配布します

授業計画

1. 授業案内、ウォーミングアップ
2. 第1課：北京の早稲
3. 第2課：坐出租车
4. 第3課：音乐的趣味
5. 第4課：AA制和AB制
6. 第5課：拉肚子
7. 中間テスト
8. 第6課：网购
9. 第7課：刷牙、刷牙
10. 第8課：大学生应该少打工，多学习
11. 第9課：表示感谢的习俗
12. 第10課：年轻人的就业观
13. 第11課：丹凤城
14. 第12課：海外的汉语奇遇
15. 調整日

授業の進度は受講生の状況に応じて適宜調整します

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

【予習】
新しい課に入る時は、事前に教科書の該当部分の書き写しを宿題として指定します。次の授業で学ぶところで、分かることと分からないことを、明確にしておいてください
テキスト付属のCDを聞き、ピンインと実際の音を聞き比べてください
課文を音読してみる（以上、2時間程度）
【復習】
授業で学んだところを自写でもう一度「振り返り」を行ってください
ドリルなどの宿題をします。今学んだポイントの定着を図ります
課文のピンインを手書きし、ピンインを体で覚えさせます
テキスト付属のCDを聞きながら、課文を読み直します（以上、2時間程度）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

外国語を用いて「人と円滑なコミュニケーションをとることができる」素質・能力を育み、法学部生に求められる「各業界の動向や問題点を理解するための基礎知識」、経済学部生に求められる「人間、社会に関するこれまでの学問的成実の基礎」、人間社会学部生に求められる「日常生活と文化といった現実社会の様々なテーマ」に皆然し「コミュニケーション能力」の育成を目指す

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考